



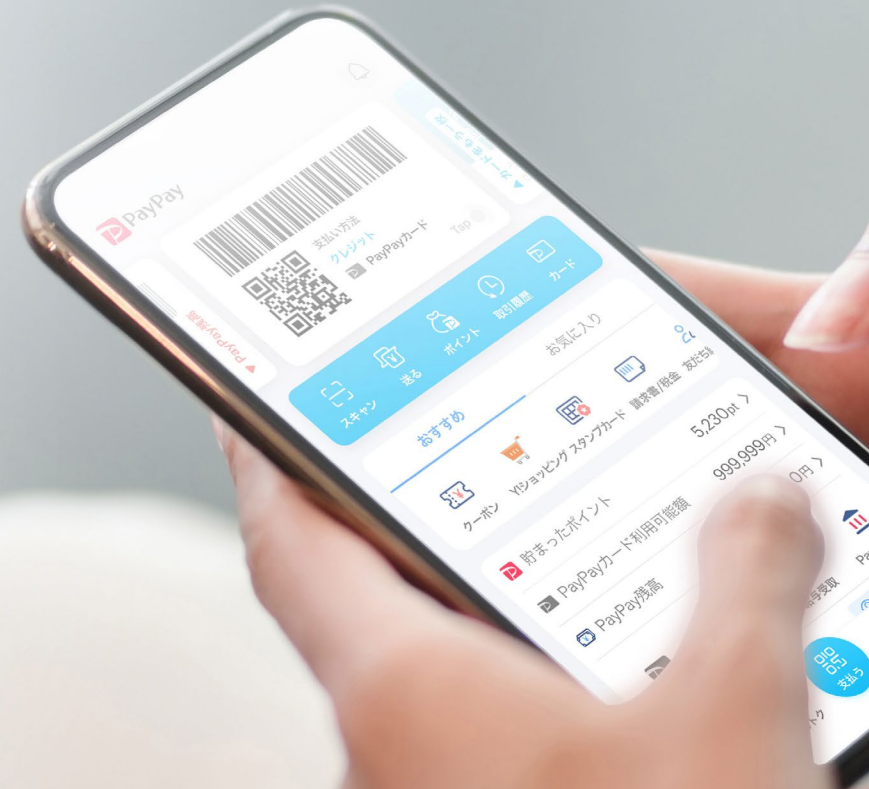
決算説明資料

Q4  
2025

# 免責事項

## 将来見通しおよび連結業績予想に関する注意事項

本プレゼンテーションには、1933年米国証券法（その後の改正を含みます。）第27A条および1934年米国証券取引所法（その後の改正を含みます。）第21E条の規定の範囲内において、リスクおよび不確実性を伴う将来見通しに関する記述が含まれています。将来見通しに関する記述は、一般に将来の事象、または将来の財務若しくは営業成績に関連するものです。これらの記述は、場合により、「期待」、「予想」、「予測」、「意図」、「計画」、「可能性」、「～し得る」、「～する予定である」、「～する見通しである」、「予期する」、「～できる可能性がある」、「～であろう」、「目標」、「投影」、「想定」、「信じる」、「見積もる」、「予見する」、「潜在的」、「目的」、「目標」、「追求する」、または「継続する」、ならびにこれらの用語の否定形、またはその他類似の表現によって識別できる場合があります。本プレゼンテーションにおける将来見通しに関する記述には、通期および四半期の収益および調整後EBITDAを含む当社の将来の営業成績または財務実績に関する期待、特定の主要な財務・営業指標に関する期待、将来の製品開発計画を含む当社の事業および成長戦略、市場機会、新たに提供を開始した製品およびイノベーションの業績、当社の技術的能力、当社の製品およびサービスに対する需要、将来の成長および加速に関する当社の期待および管理、ならびに当社の業界および伝統的な銀行に関する期待、およびこれらに関連する仮定が含まれますが、これらに限定されません。これらの記述には既知または未知のリスク、不確実性、およびその他の重要な要因が含まれており、当社の実際の業績、成果、または実績が、将来見通しに関する記述によって明示または暗示された将来の業績、成果、または実績と著しく異なる可能性があります。これらのリスクおよび不確実性には、次に掲げるような事項に関連するリスクが含まれます。成長を効果的に管理する能力、新規ユーザーの獲得、アクティブユーザーの維持、およびアクティブユーザーとの関係性の深化、当社サービスを利用する新規加盟店の獲得、既存加盟店との関係強化、および決済事業における取引量の拡大、コード決済サービスとクレジットカード決済サービスの相乗効果の維持および拡大、当社プラットフォームのエコシステム効果の維持および強化、当社の連結子会社および持分法適用関連会社の株主との提携関係、日本におけるキャッシュレス決済業界およびデジタル金融サービス業界の拡大および発展の変化、価格戦略の実施およびサービスラインナップの拡充能力、強固で信頼されるブランドの維持、保護、および強化、技術インフラの維持または改善能力、当社の事業および銀行エコシステムに適用される複雑かつ進化を続ける法令および規制等を含みます。これらのリスクおよび当社の財務成績に影響を及ぼし得るその他の要因に関する追加情報は、当社が米国証券取引委員会に提出した書類（当社のIPO目論見書を含みます。）に記載されています。当社の連結業績予想および目標に関する記述は将来見通しであり、実際の業績が予測と著しく異なる原因となり得る既知または未知のリスクおよび不確実性を伴います。また、新たなリスクや不確実性は随時発生するものであり、本プレゼンテーションに含まれる将来見通しに関する記述に影響を及ぼし得るすべてのリスクおよび不確実性を当社が予測することは不可能です。これらの将来見通しに関する記述は、本プレゼンテーションの日付時点における将来の事象に関する当社の見解を反映したものであり、仮定に基づき、リスクおよび不確実性を内包しています。これらの不確実性を考慮し、将来見通しに関する記述に過度な依拠をすることはお控えください。当社の財務結果に影響を及ぼし得るこれらのリスクおよびその他の要因に関する詳細は、当社の規制当局への提出書類および定期報告書に記載されております。法律で義務付けられている場合を除き、当社は、本プレゼンテーションの日付以降、新しい情報や将来の事象等の結果として将来見通しに関する記述を更新する義務を負うものではありません。



# 免責事項

## 非IFRS財務指標および主要な指標

本プレゼンテーションには、国際会計基準審議会（IASB）が発行した国際財務報告基準（以下「IFRS」）に従って作成された財務情報が含まれています。また、本プレゼンテーションには非IFRS財務情報も含まれておりますが、これらはIFRSに従って算出された財務指標を補完するものであり、代替となるものや、より優れたものとして検討されるべきではありません。本プレゼンテーションに含まれる非IFRS財務指標には、調整後EBITDAおよび調整後EBITDAマージンが含まれます。当社は、営業費用の管理や内部資源の配分を含む戦略的意思決定、予算および予測の作成、事業計画の策定、ならびに営業成績の評価において、IFRS指標と併せてこれらの非IFRS財務指標を使用しております。当社は、これらの非IFRS財務指標が投資家、アナリスト、およびその他の関係者に対し、当社の事業および財務実績に関する有用な情報を提供し、当社の業績に対する全体的な理解を深めるとともに、各期間における財務実績の一貫性のある比較可能な概観を提供する一助となると確信しています。

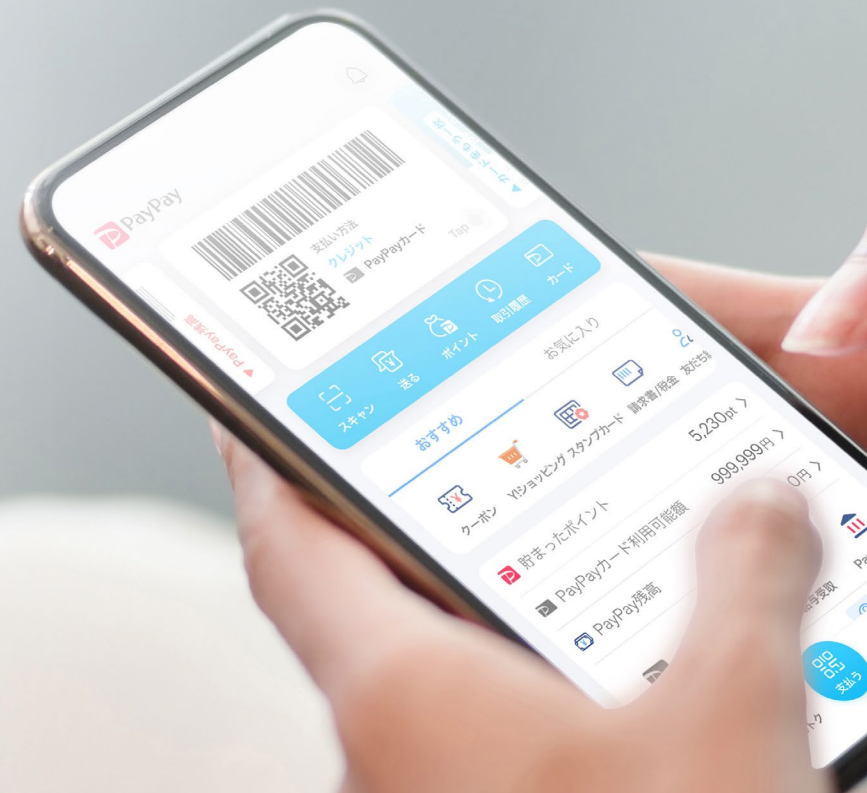
これらの非IFRS財務指標およびそれらに対応する最も直接的に比較可能なIFRS指標の使用には、多くの制限があります。例えば、当社による非IFRS財務指標の定義は、他社が使用する非IFRS財務指標とは異なる場合があります。最も直接的に比較可能なIFRS指標への調整については、本プレゼンテーションに添付された財務表をご参照ください。ただし、非IFRS指標から除外される項目の金額や発生時期の予測が困難であるため、合理的な努力の範囲内では、特定の非IFRS財務見通し指標に対応するIFRS指標への調整を、将来見通しに基づいて提供することはできません。前述の事項にかかわらず、調整項目に重大な変更が生じた場合、将来のIFRS業績に大きな影響を及ぼす可能性があることに留意することが重要です。さらに、本プレゼンテーションには、当社の営業成績の評価、事業計画の策定、および戦略的意思決定を行うために使用している主要な営業指標が含まれております。

## 未監査の財務情報

本プレゼンテーションに記載されている各期間の財務情報は未監査であり、当社の管理上の数値に基づいていることにご留意ください。

## 業界および市場データ

本プレゼンテーションには、第三者機関から引用した情報、推定値、およびその他の統計データが含まれている場合があります。当社は、これらの情報が当該記述の合理的な根拠になると判断していますが、これらの情報は限定的または不完全である可能性があり、当社が独自に当該データの正確性を検証したものではありません。





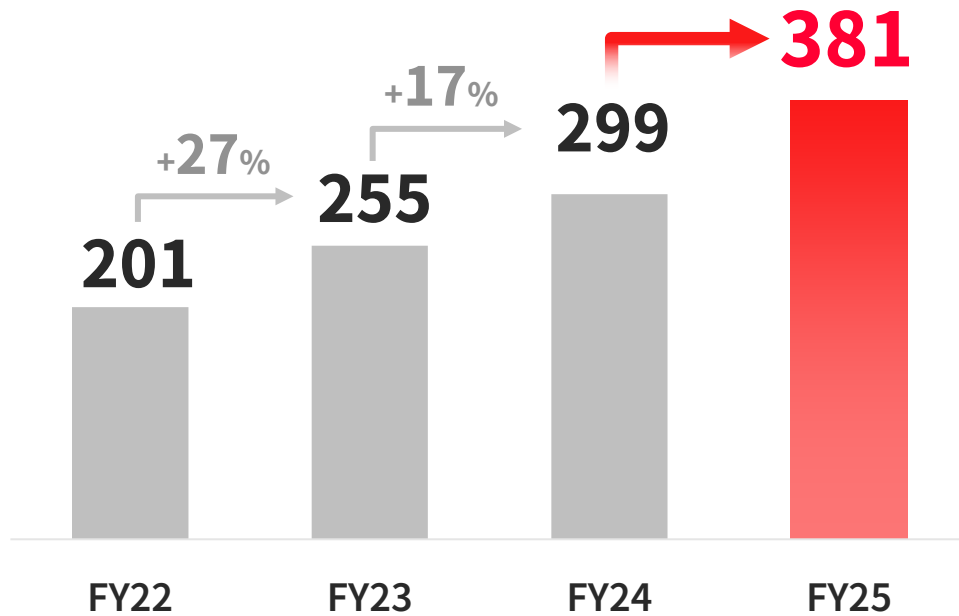
# CEO Message

# Rule of X = 56 (27+29)

## 成長性

営業収益・成長率  
(十億円) (YoY)

**+27%**

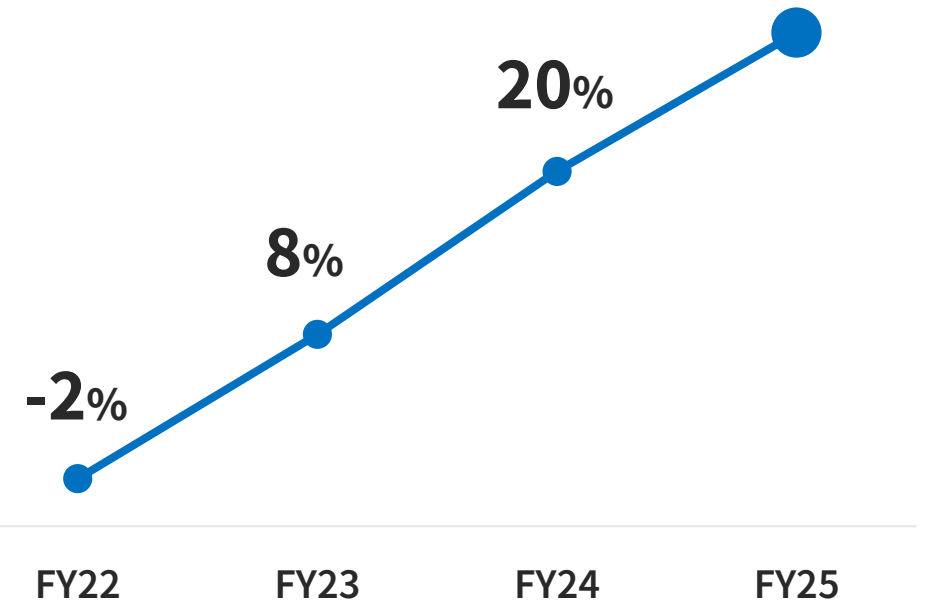


+

## 収益性

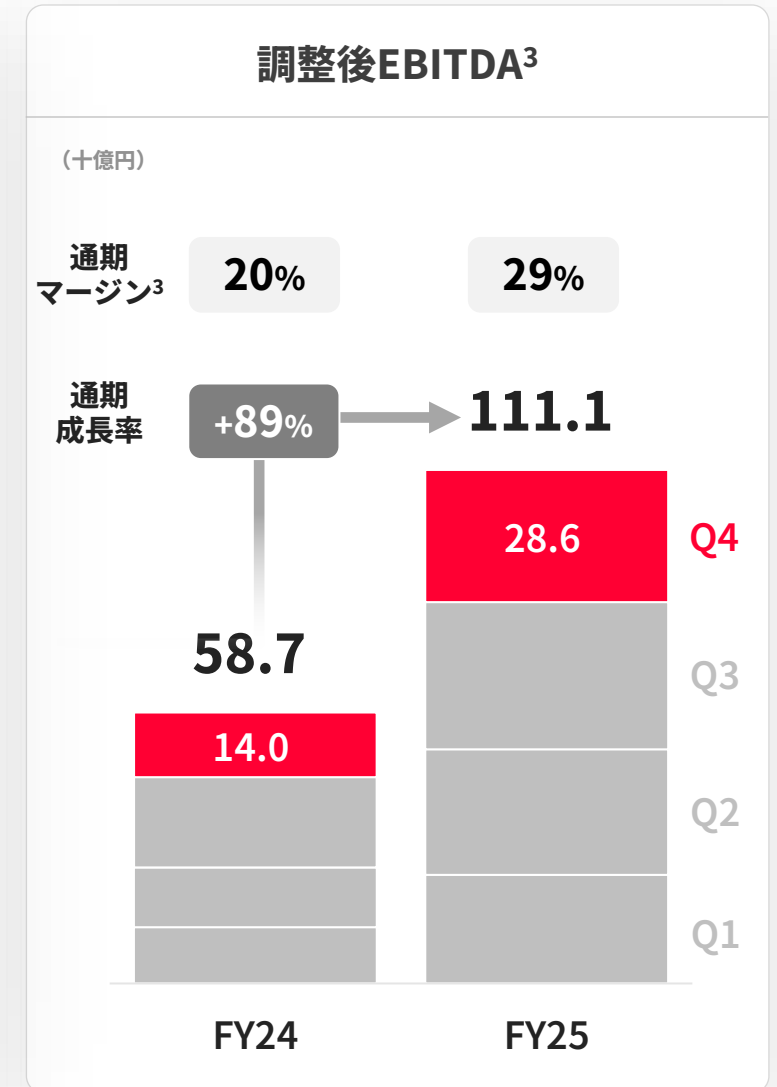
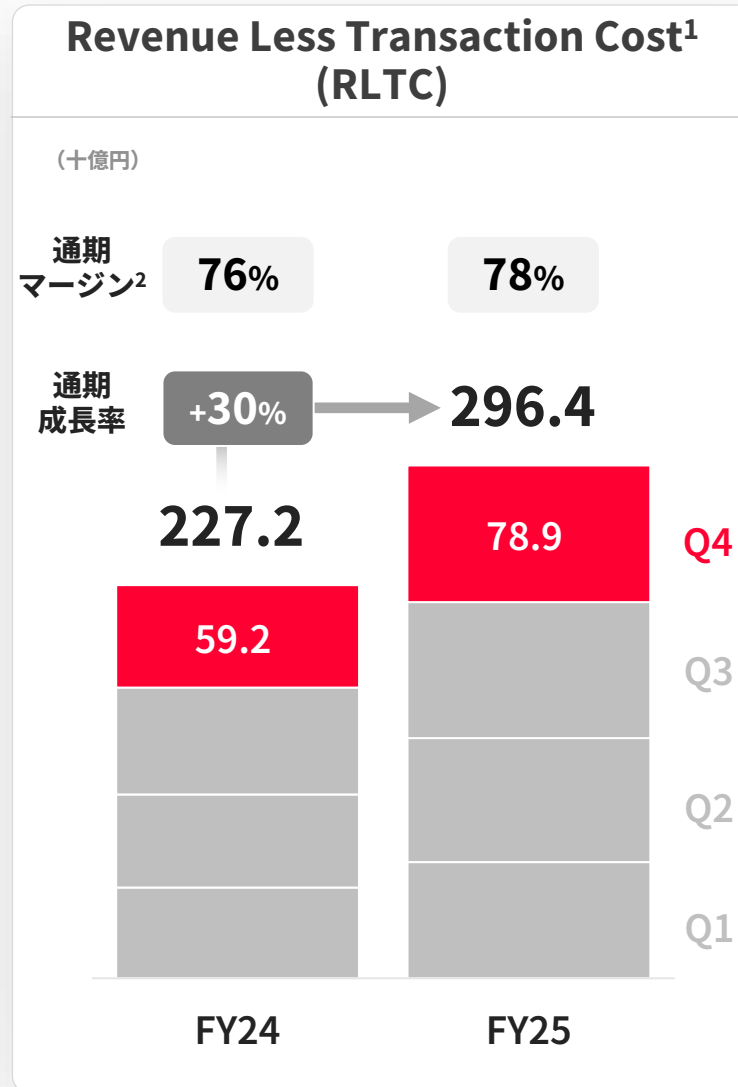
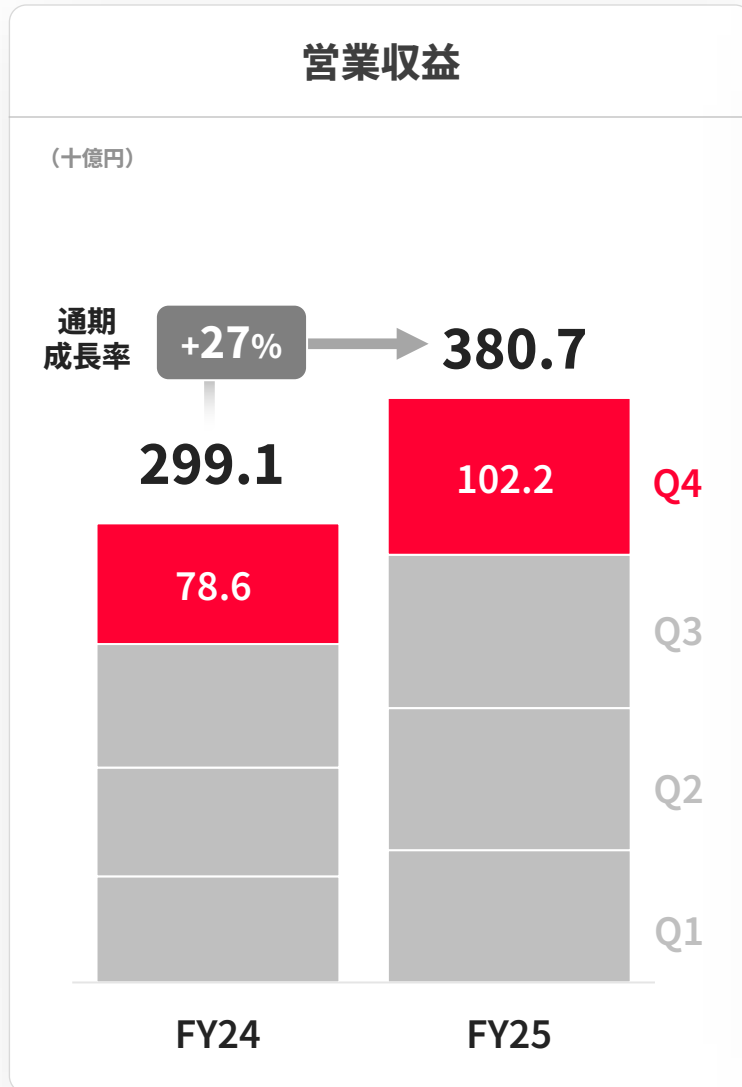
調整後EBITDAマージン<sup>1</sup>

**29%**



1. 調整後EBITDAマージンは非IFRS指標です。最も直接的に比較可能なIFRS指標への調整については、Appendixをご参照ください

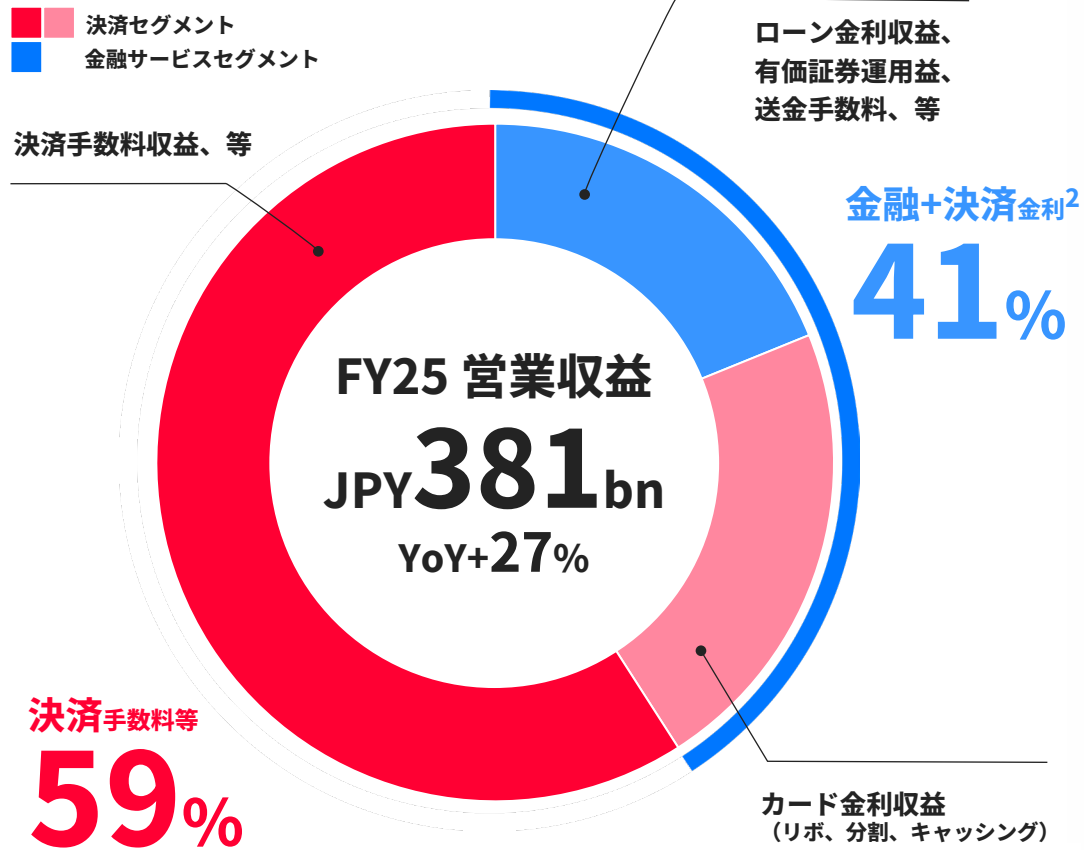
# 連結業績の概要



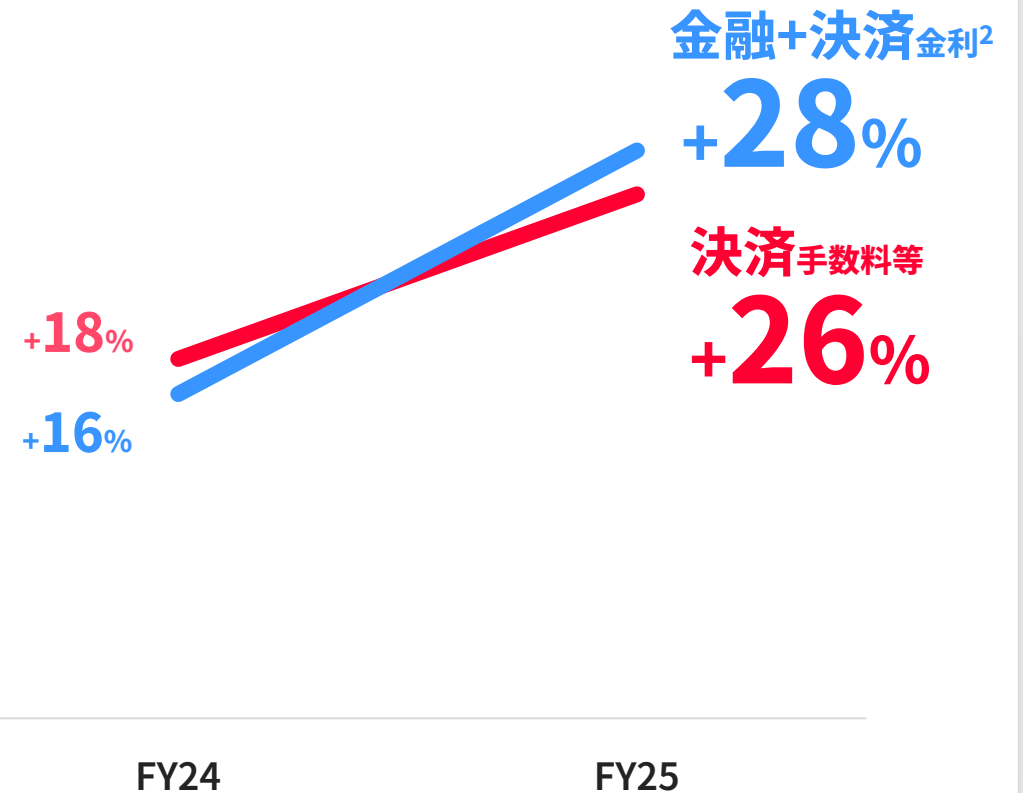
1. 総取引関連費用控除後営業収益 (Revenue Less Transaction Cost, RLTC) = 営業収益 - (決済関連費用 + 貸倒引当金繰入 + 支払利息)  
 2. 対営業収益の比率  
 3. 調整後EBITDA、調整後EBITDAマージンは非IFRS指標です。最も直接的に比較可能なIFRS指標への調整については、Appendixをご参照ください

# 二つの柱の成長

## 営業収益の構成<sup>1</sup>



## 営業収益成長率 (YoY) の推移



1. 各セグメントの数値は、セグメント間営業収益を含む営業収益に基づく
2. 営業収益に占める金融サービスセグメントの営業収益と決済セグメントの金利収益の合算値の割合

# 「金融」再定義への第一歩

累計利用件数 **4**万件超  
うち、貸倒割合 **0.03%**

 PayPay Bank

PayPay  
店舗専用ローン  
(26年4月～)

最大1,000万円

 PayPay

PayPay  
資金調達  
(24年3月～)

最大100万円

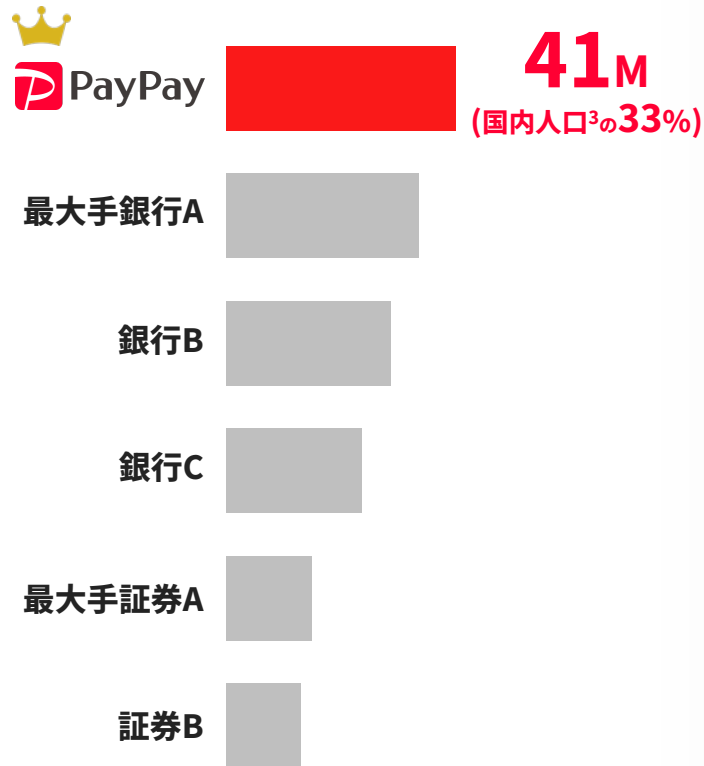
データ蓄積

データレンディング  
1分 (2タップ) で完結<sup>1</sup>

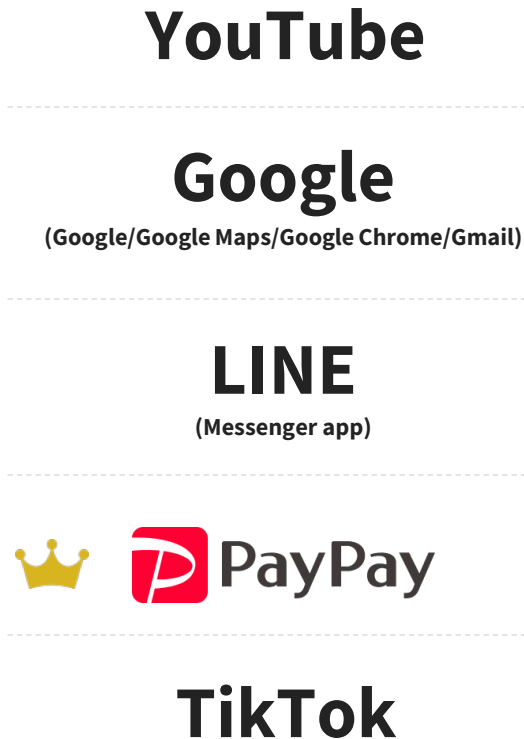
1. 招待された加盟店は、加盟店向け管理ツール「PayPay for Business」から、提示された条件を確認し、最短1分で申し込みが完了

# 国内No.1の金融プラットフォーム=データ基盤

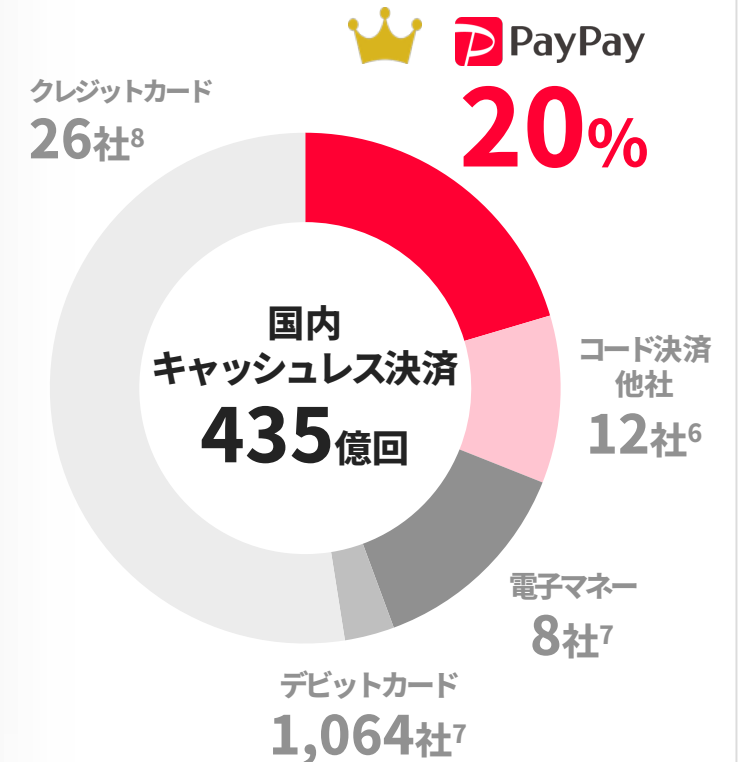
## 本人確認済みユーザー数<sup>1,2</sup>



## App Ranking by MAU<sup>4</sup>



## 決済回数シェア<sup>5</sup>



1. 2026年3月31日時点

2. 国内大手各社の直近の開示資料に基づく（金融機関により対象時期が異なる場合あり）

3. 2026年4月1日現在の総人口（概算値）。総務省統計局『人口推計 2026年（令和8年）4月報』2026年4月20日

4. Sensor Tower, Inc. 『State of Mobile 2026』、2025年、日本

5. CY2025実績、経済産業省『2025年のキャッシュレス決済比率を算出しました』2026年3月31日

6. 一般社団法人キャッシュレス推進協議会『コード決済利用動向調査』2026年3月30日

7. 日本銀行『決済動向』2026年4月30日

8. 一般社団法人日本クレジット協会『クレジットカード動態調査』



# Financial Highlights

# FY2025通期／Q4：決算ハイライト

## 連結

- **トップライン成長**：営業収益は、通期で+27%、Q4で+30% YoY
- **収益性が急拡大**：調整後EBITDA<sup>1</sup>は、通期で+89%、Q4で+104% YoY。営業レバレッジを背景に、マージン<sup>1</sup>は通期で29%、Q4で28%に拡大

## 決済セグメント

- **テイクレートの上昇**：1.65%に到達（+0.05%pt YoY）。高マージンの**オンラインGMV**（Q4 QR GMVの18%）とPayPayクレジット／カードの**金利収入**が拡大
- **クレジットカードの成長**：事業が軌道に乗り、金融関連残高はYoY +1,000億円超の増加

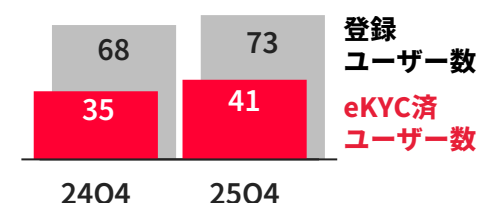
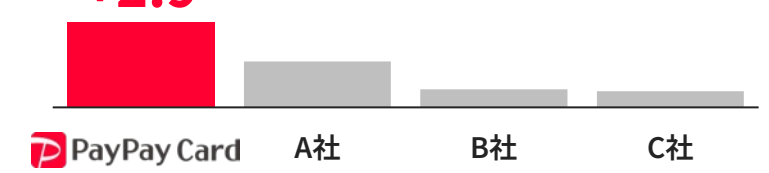
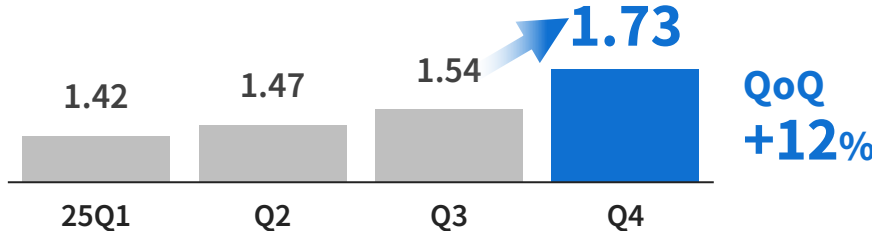
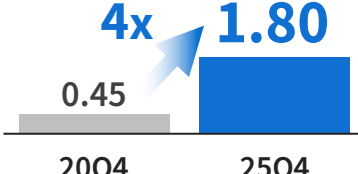
## 金融サービスセグメント

- **貸出残高の拡大**：住宅ローンの強い成長を背景に、貸出残高は+34% YoY。外部保証料の最適化も金利収入を押し上げ
- **収益性のマイルストーン**：銀行OHRは50%台まで改善<sup>2</sup>、証券は初の通期営業黒字を達成<sup>2</sup>

1. 調整後EBITDA、調整後EBITDAマージンは非IFRS指標です。最も直接的に比較可能なIFRS指標への調整については、Appendixをご参照ください

2. 日本会計基準（J-GAAP）に基づく

# 主なトピック：FY2025 Q4

1	<p>安全な金融プラットフォームへ —eKYC済ユーザー基盤の拡大</p>	<p>(百万人)</p> <p>eKYC済ユーザーが 4,000万人を突破</p>  <p>登録ユーザー数 eKYC済ユーザー数</p> <p>24Q4 25Q4</p> <p>【今後の主な施策】 ポイント特典の規約改定 eKYC済ユーザー限定化 (2026年6月～)</p>
2	<p>PayPayカード純増数が 国内クレカ業界トップクラスに<sup>2</sup></p>	<p>CY2025 純増数 (百万枚)<sup>1,2</sup></p> <p>+2.9</p>  <p>PayPay Card A社 B社 C社</p>
3	<p>PayPay証券が PayPay IPO株を販売</p>	<p>PayPay証券口座数 (各四半期末、百万口座)</p>  <p>25Q1 Q2 Q3 Q4</p> <p>QoQ +12%</p>
4	<p>若年層エンゲージメントの強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「PayPay U18応援プロジェクト」 —若年層を対象に、ポイント還元を優遇<sup>3</sup></li> <li>PayPay銀行が12歳から口座開設可能に</li> <li>PayPay銀行の若年層口座数が5年間で4倍に増加</li> </ul>  <p>PayPay銀行 10代・20代の口座数 (各四半期末、百万口座)</p> <p>20Q4 25Q4</p> <p>4x</p>

1. 純増数は、12月末時点と比較した有効カード枚数、または契約数の増加数

2. 2025年12月末時点のカード発行枚数、契約者数について公表のあった各社（A、B、C社）の決算資料、公表数値をもとにPayPayカード（株）調べ

3. 施策により、対象年齢、実施時期は異なる

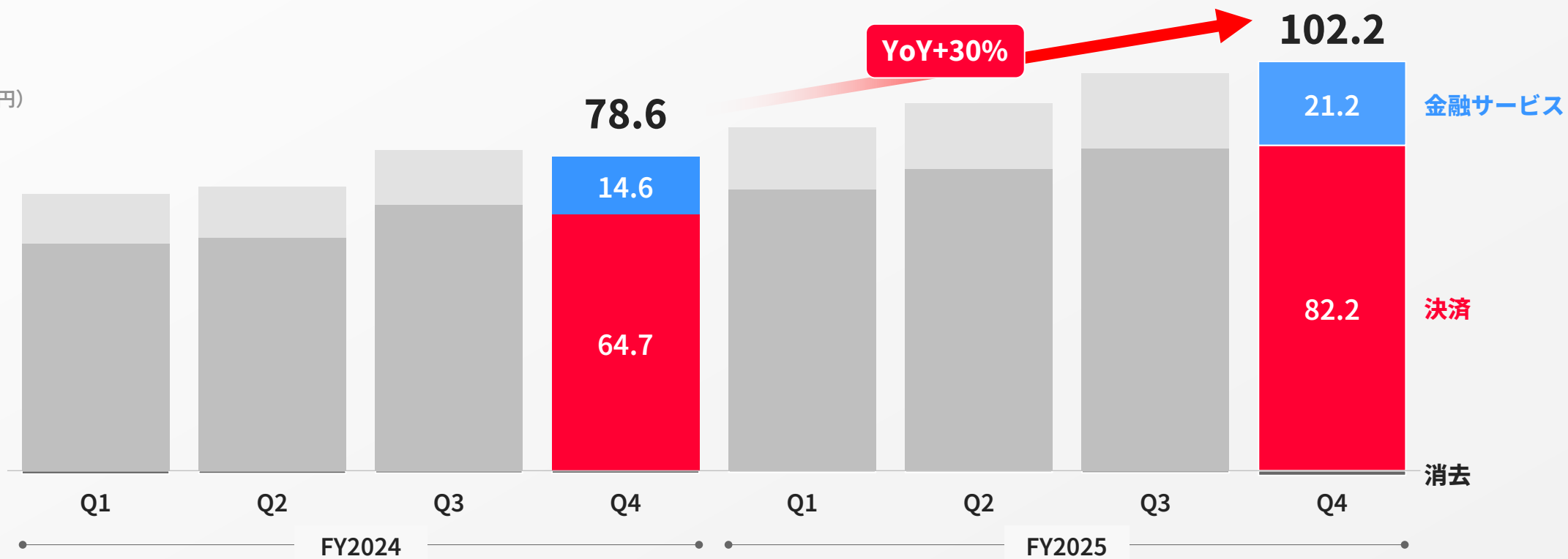
# 営業収益

総取引関連費用率

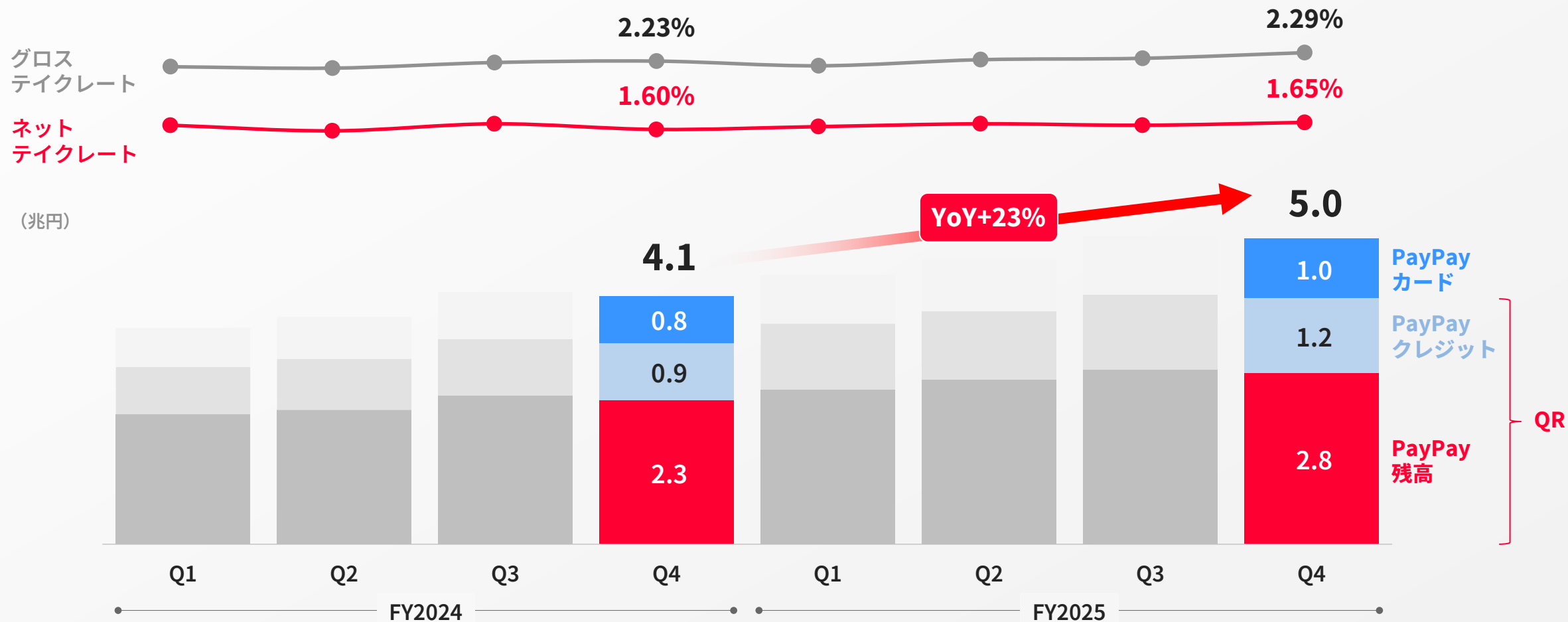
24.7%

22.8%

(十億円)

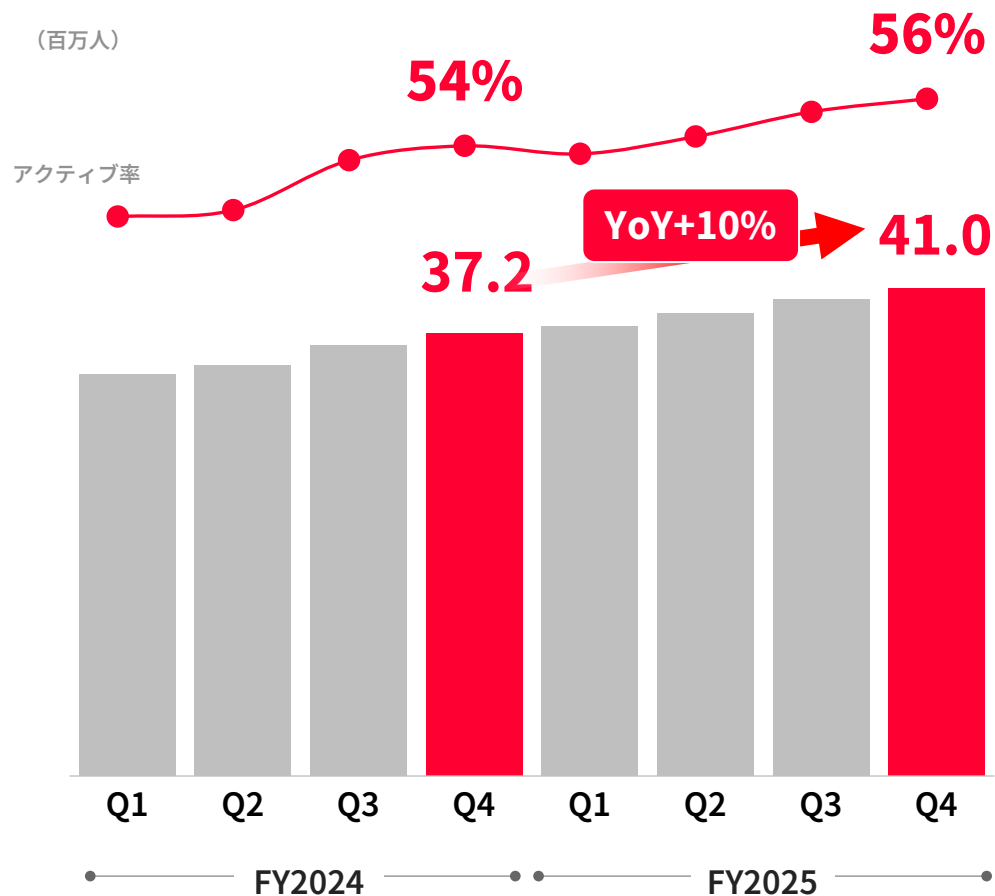


# 事業KPI | 決済セグメントGMV／テイクレートの推移

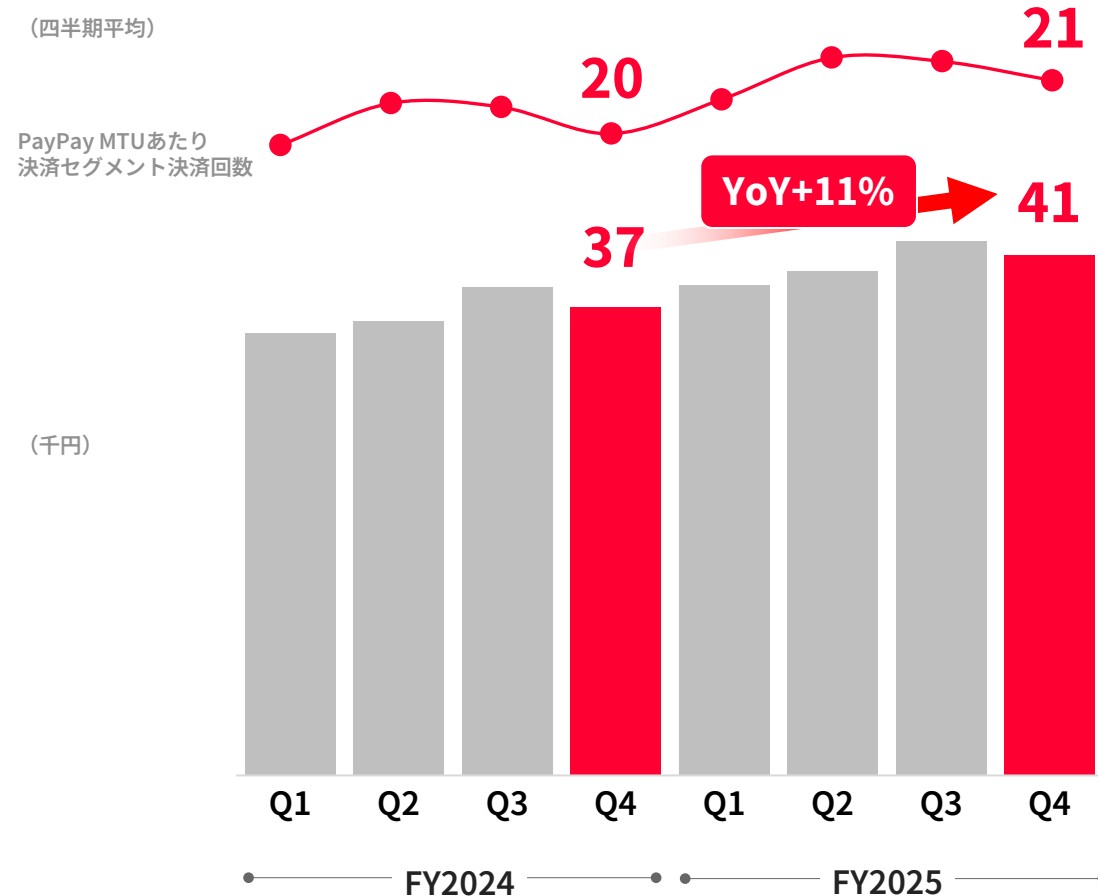


# 事業KPI | PayPay MTU

## MTU (各対象期間の最終月)



## PayPay MTUあたり決済セグメント月間GMV



# 事業KPI | PayPayカード

## 有効カード発行枚数

(百万枚)

2024年8月  
PayPayカードが  
複数枚発行可能に

2025年3月

独自与信モデルの活用を開始し、  
審査承認率が改善

YoY+22%

16.9

13.8

(期末) Q1 Q2 Q3 Q4 Q1 Q2 Q3 Q4

FY2024

FY2025

## 金融関連残高

(十億円)

YoY+23%

535

434

キャッシング  
分割

リボ

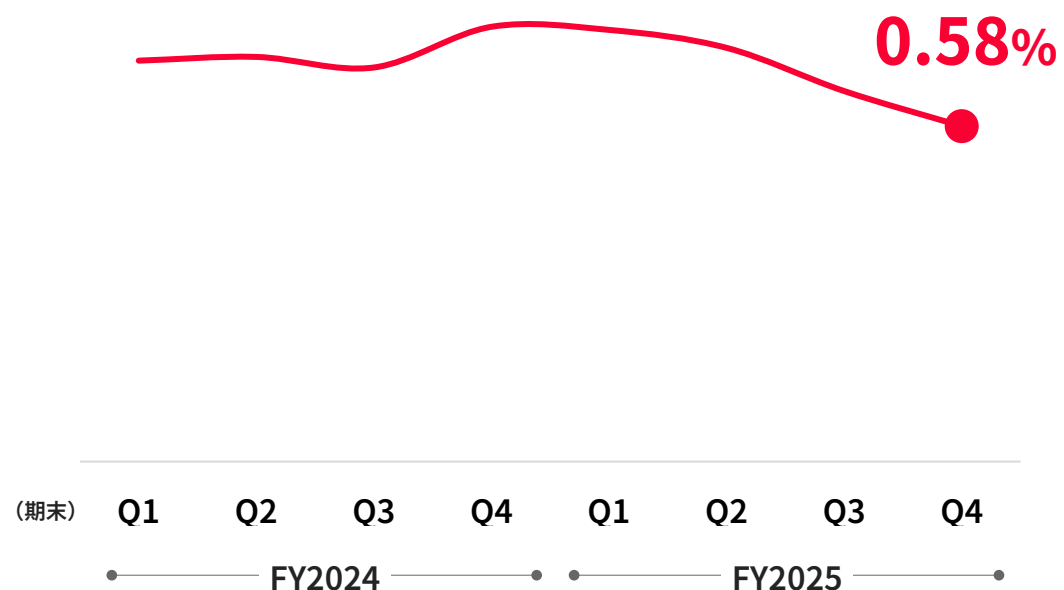
(期末) Q1 Q2 Q3 Q4 Q1 Q2 Q3 Q4

FY2024

FY2025

# 事業KPI | PayPayカード — 与信指標

## 純損失率



## 延滞率／引当率

ステージ3  
(不良債権：3か月以上延滞<sup>1</sup>)

**4%**  
引当率：57%

ステージ1  
(延滞なし)

**95%**  
引当率：1%

ステージ2  
(1-2か月延滞<sup>2</sup>)

**1%**  
引当率：25%

2026年3月  
カード売掛金  
**1.3兆円**

引当率：4%

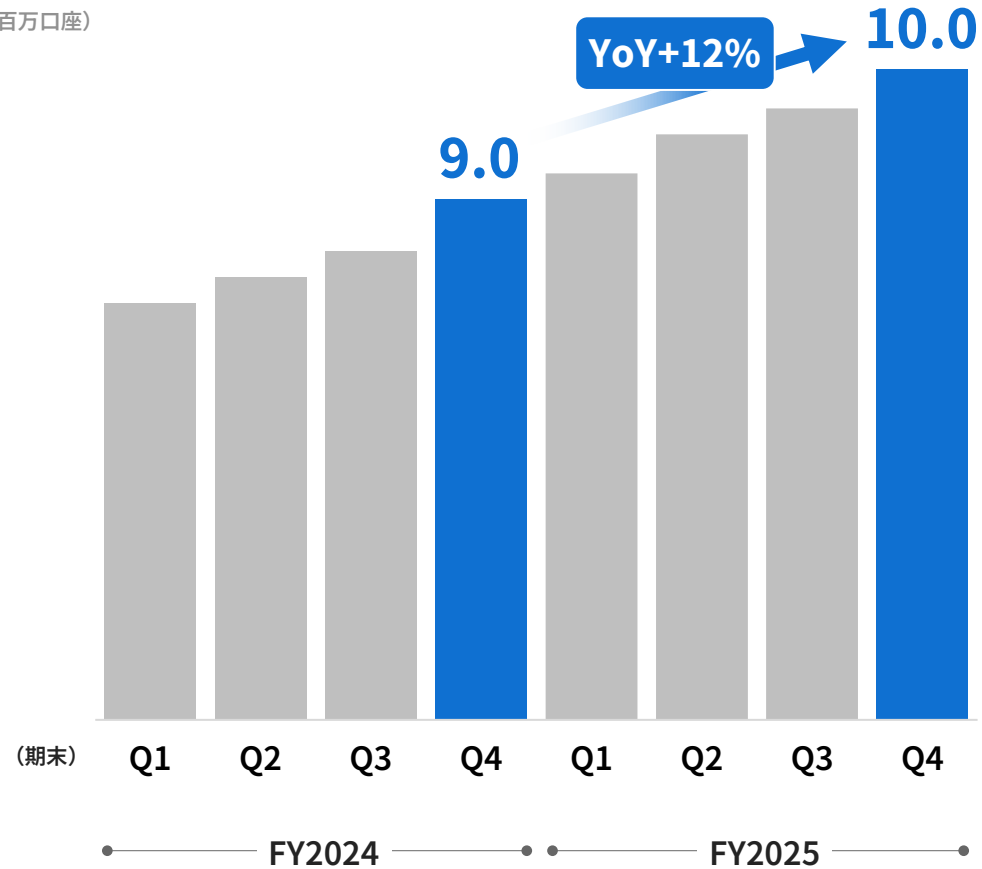
1. 条件変更債権または未払残高を含む

2. キャッシング債権のみ（ショッピング除く）1か月未満の延滞もStage 2に含めている

# 事業KPI | 金融サービスセグメント

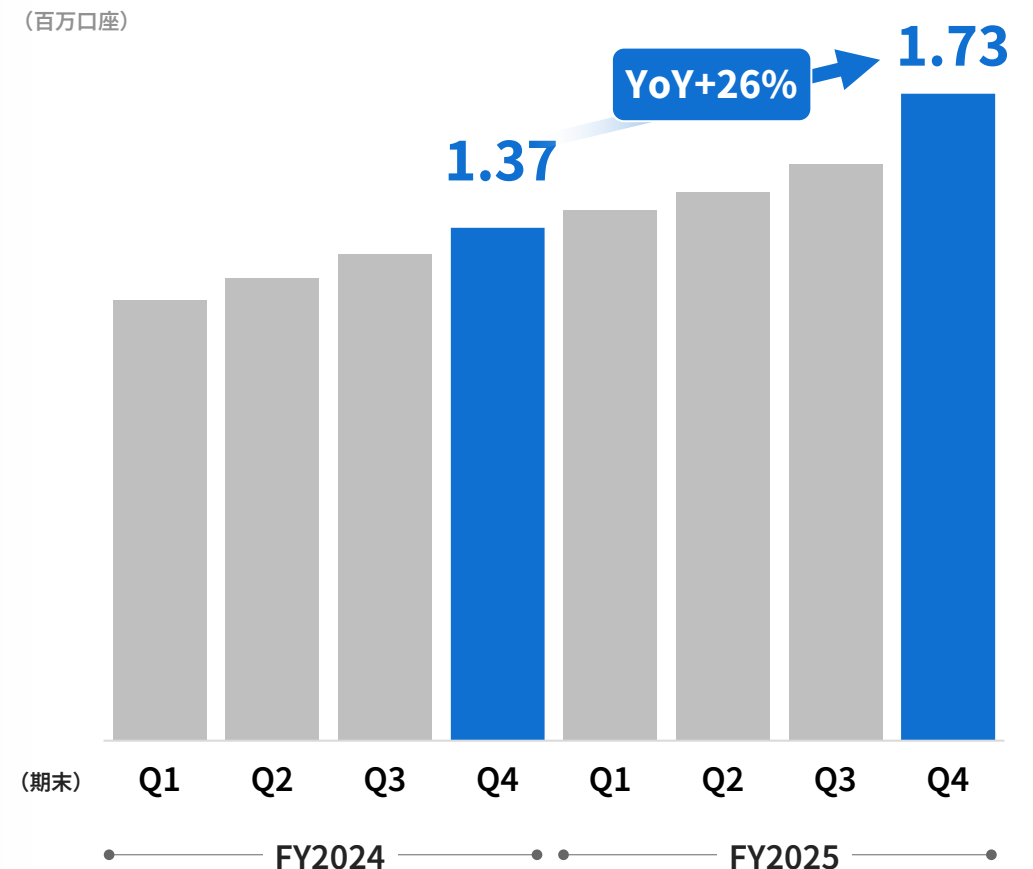
## PayPay Bank | 銀行口座数

(百万口座)



## PayPay Securities | 証券口座数

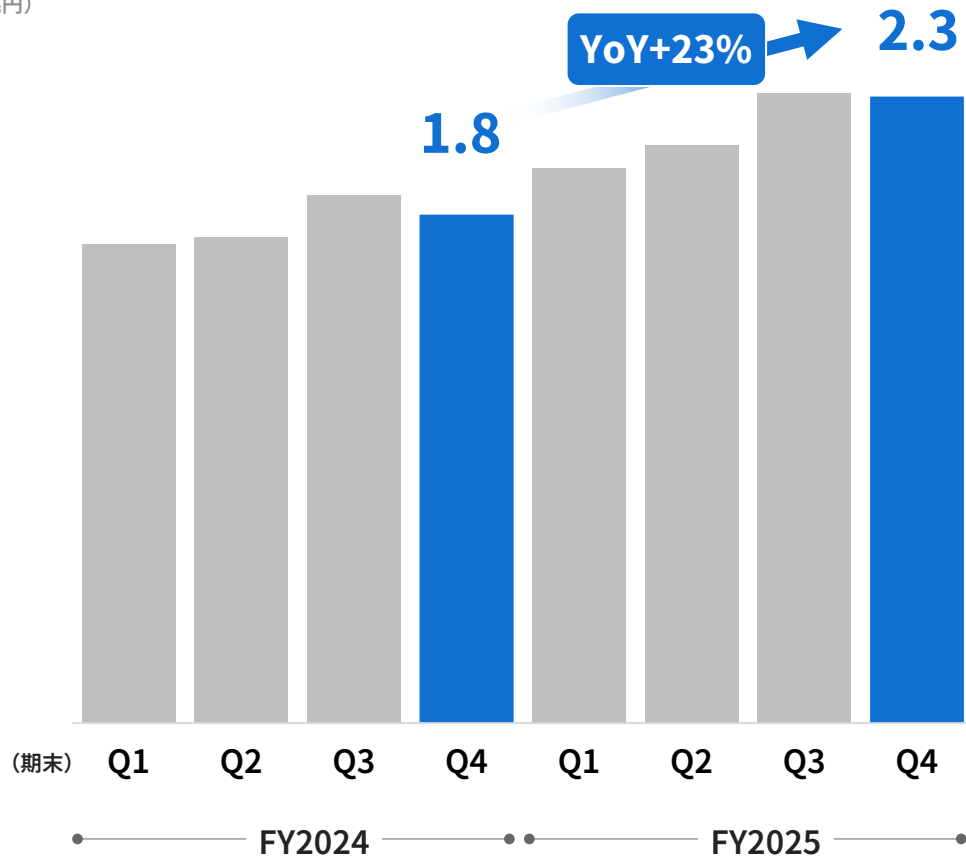
(百万口座)



# 事業KPI | PayPay銀行

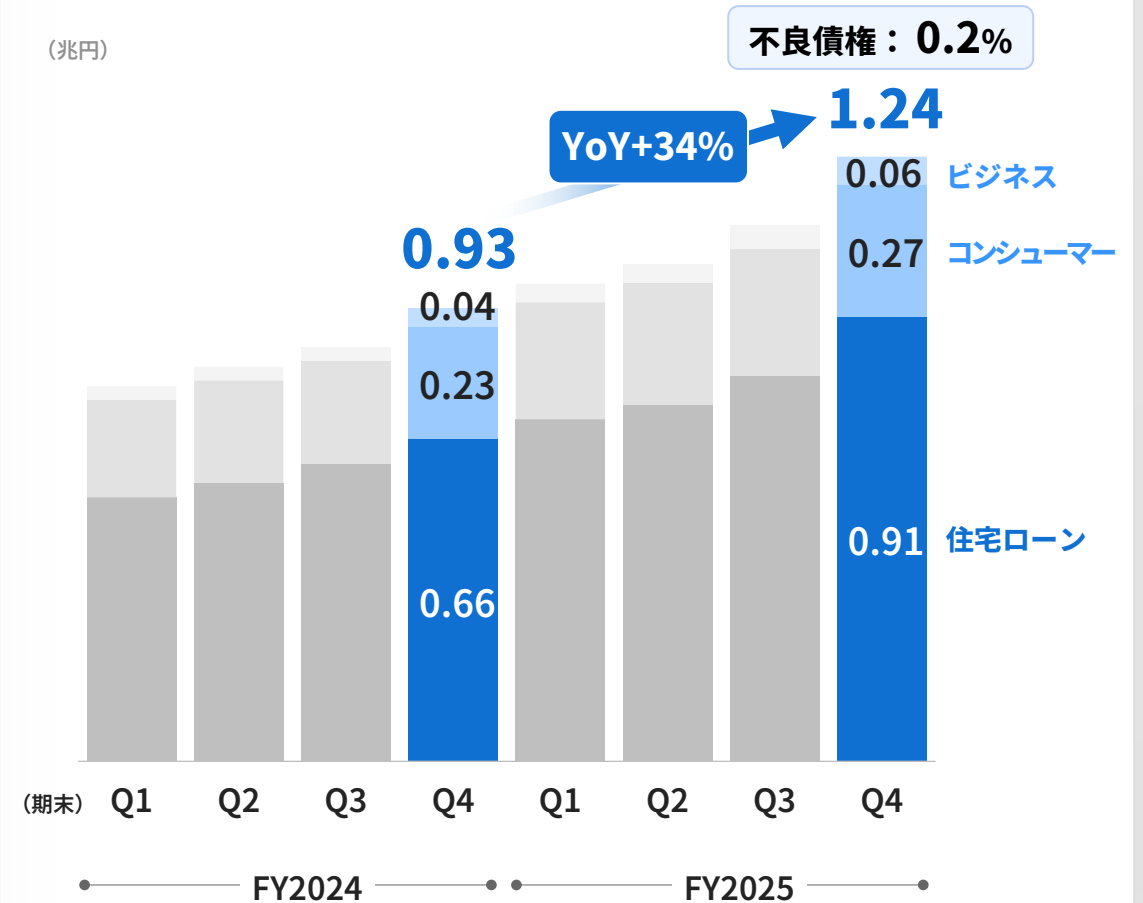
## 預金残高

(兆円)



## 貸出残高

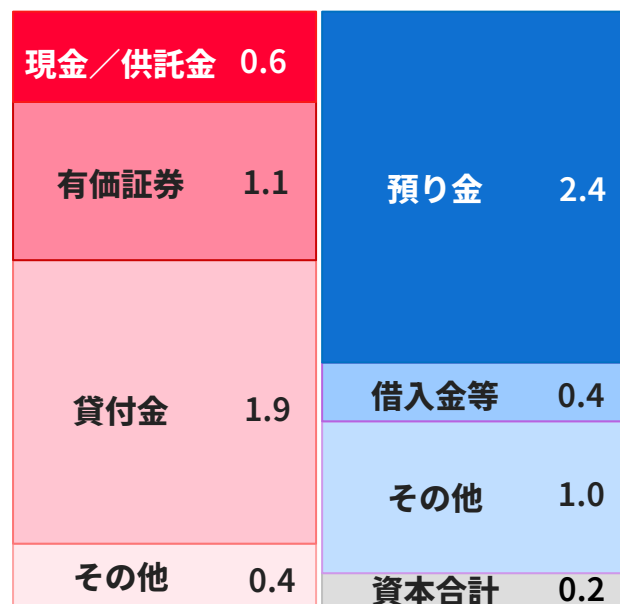
(兆円)



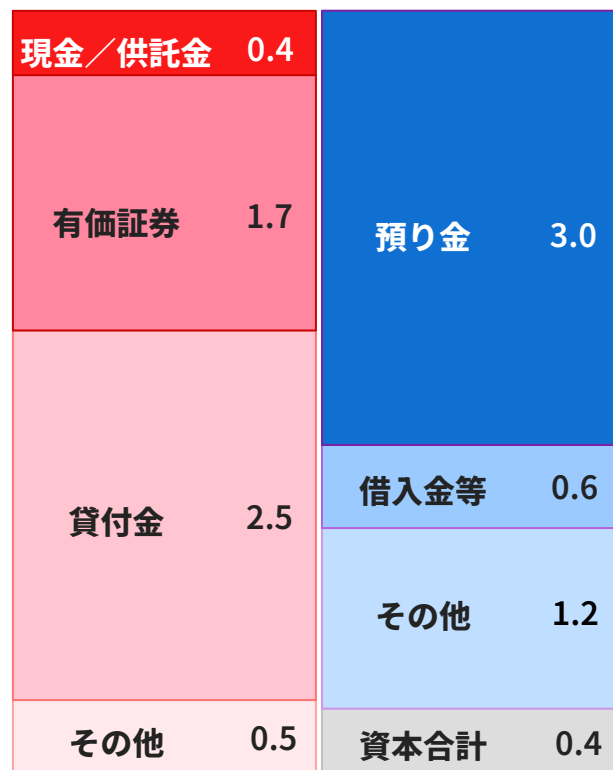
# 財政状態計算書

## 財政状態計算書（簡略版）

(兆円)



FY2024 Q4 総資産：4.0兆円



FY2025 Q4 総資産：5.2兆円

FY2024 Q4

FY2025 Q4

自己  
資本比率

2.5%

7.6%

Q4調整後  
ROE  
(年率換算)

21.5%

14.9%

ネットデット  
(十億円)

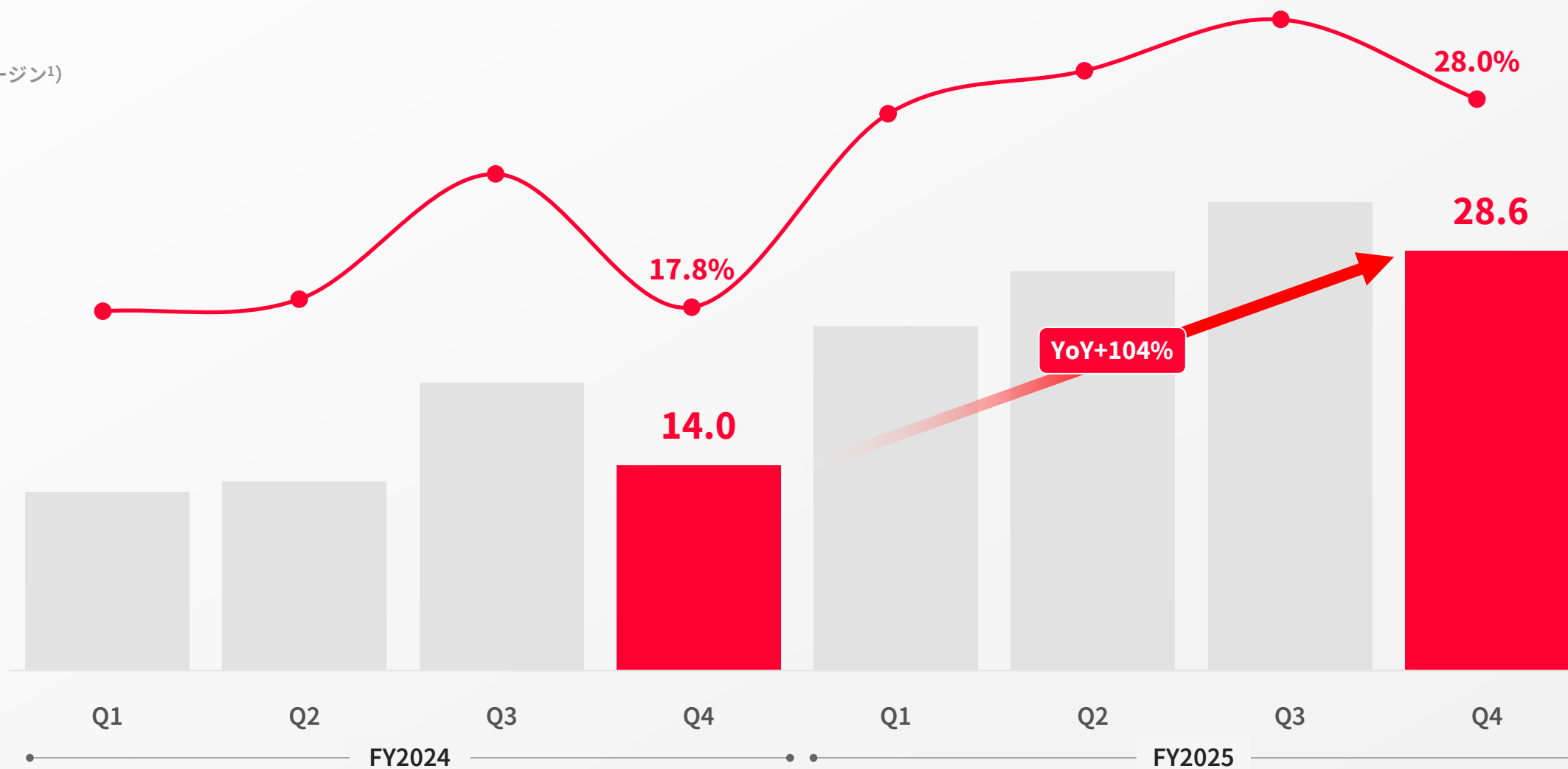
45

106

# 調整後EBITDA<sup>1</sup>

(EBITDAマージン<sup>1</sup>)

(十億円)



1. 調整後EBITDA、調整後EBITDAマージンは非IFRS指標です。最も直接的に比較可能なIFRS指標への調整については、Appendixをご参照ください

# FY2026業績予想

(十億円)	FY2026 Q1	FY2026通期
営業収益	103 – 105	454 – 462
調整後EBITDA <sup>1</sup>	30.5 – 32.5	134.5 – 140.5

1. 調整後EBITDAは非IFRS指標です。最も直接的に比較可能なIFRS指標への調整については、Appendixをご参照ください

# Appendix

# Non-IFRS財務指標および調整表

## 調整後EBITDA／調整後EBITDAマージン

(百万円)	FY2024 (通期)	FY2025 (通期)	FY2024 Q4 (3か月間)	FY2025 Q4 (3か月間)
純利益	39,157	117,810	10,200	14,473
法人所得税	(4,196)	(37,865)	(3,040)	4,363
持分法による投資損失	549	137	166	238
減価償却費及び償却費	20,093	23,758	5,607	6,208
株式に基づく報酬に係る費用	-	1,730	-	1,730
契約獲得コストの償却費	1,297	1,724	349	481
固定資産除売却損	702	1,356	207	811
上場関連費用	302	2,202	302	286
M&A関連費用	330	593	153	162
全社借入金および金融資産に関連する純利息費用 (△は収益)	416	(316)	59	(159)
調整後EBITDA	58,650	111,130	14,003	28,593
営業収益	299,078	380,662	78,631	102,184
調整後EBITDAマージン	20%	29%	18%	28%

# 用語集

決済セグメントGMV	PayPay残高GMV、PayPayクレジットGMV、PayPayカードGMVの総額。ただし、中止された取引のGMVは除く
PayPayアプリGMV（またはQR GMV）	PayPay残高GMV、PayPayクレジットGMVの総額。ただし、中止された取引のGMVは除く
PayPay残高GMV	PayPay残高、PayPayデビット、PayPay残高カード、PayPayアプリに連携されたその他のクレジットカードによる決済およびAlipay+やHIVER®等の他の決済サービス・ネットワークを通じたPayPayコード決済による決済のGMVを指す。ただし、PayPayカードによるPayPay残高へのチャージおよび中止された取引に係るGMVは除く
PayPayクレジットGMV	PayPayクレジットを利用した決済、PayPayカードによるPayPay残高へのチャージおよびPayPayアカウントを連携せずにPayPayカードをPayPayアプリに連携して行われた決済のGMVを指す。ただし、中止された取引に係るGMVは除く
PayPayカードGMV	PayPayカード（物理カード）を使用した決済のGMVを指す。ただし、PayPayカードによるPayPay残高へのチャージおよび中止された取引に係るGMVは除く
（ネット）テイクレート	決済セグメントの営業収益÷決済セグメントGMV
グロステイクレート	決済セグメントの控除前営業収益÷決済セグメントGMV
PayPay MAU（月間アクティブユーザー数）	月間で少なくとも1回PayPayアプリを起動したユニークユーザー数
PayPay MTU（月間取引ユーザー数）	PayPay残高GMVまたはPayPayクレジットGMVに寄与する決済を、月間で少なくとも1回行ったユニークユーザー数。ただし、P2P（個人間送金）および中止された取引を除く。四半期または年次ベースのPayPay MTUは、当該期間の最終月の数値を示す

# 用語集

アクティブ率	各対象期間の最終月におけるPayPay MTUを、各対象期間末時点のPayPay登録ユーザー数で除して算出
PayPay MTUあたり決済セグメント月間GMV	PayPay残高、PayPayクレジットおよびPayPayカードの四半期累計GMV合計を、四半期累計のPayPay MTUで除して算出
PayPay MTUあたり決済セグメント月間決済回数	PayPay残高、PayPayクレジットおよびPayPayカードの四半期累計取引回数合計を、四半期累計のPayPay MTUで除して算出
PayPayカード有効発行枚数	アカウント停止中または退会済みの会員を除く、PayPayカード、PayPayクレジットおよびYahoo! JAPANカードの会員数。2024年8月以降、同一会員が複数のPayPayカードを発行している場合は、複数回計上
PayPayカード金融関連残高	対象期間の各月末におけるPayPayカードのリボ払い、分割払いおよびキャッシングの残高合計
PayPayカード純損失率	貸倒償却額から償却後回収額を控除した金額を、平均債権残高で除して算出。分子は当該期間を含む直近4四半期の累計額、分母は当該期間を含む直近4四半期末残高の平均を用いる
PayPayカード延滞率	期末延滞債権残高を期末債権残高で除して算出
PayPayカード引当率	期末引当金残高を期末債権残高で除して算出。未使用のカードと信枠に係る貸倒引当金は除く

# 用語集

PayPay銀行口座数	個人・法人双方を含む、各月末時点のPayPay銀行の普通預金口座数の合計。解約済み口座および定期預金口座を除く
PayPay証券口座数	各四半期末時点のPayPay証券の総合証券口座数の累計。解約済みまたは凍結された証券口座を除く
PayPay銀行預金残高	要求払預金および定期預金の合計
PayPay銀行貸出残高	住宅ローン、当座貸越、その他の貸出の合計
調整後ROE	親会社の所有者に帰属する純利益（法人税等調整前） <sup>1</sup> を、期首および期末の親会社の所有者に帰属する持分の平均で除して算出
ネットデット	① LY Corp.からの借入金 <sup>2</sup> +②預り金（決済セグメント）-③現金及び現金同等物（決済セグメント：現金及び要求払預金）-④供託金及び差入証拠金（決済セグメント：*PayPay銀行への供託残高 <sup>3</sup> を足し戻し）-⑤ 有価証券（決済セグメント：国債）により算出

1. 2026年3月31日で終了した3か月間における実績：126億円

2. 2026年3月31日時点：200億円

3. 2026年3月31日時点：1,965億円

